

令和 7 年 7 月 11 日 開 会

令和 7 年度第 4 回教育委員会定例会会議録

垂水市教育委員会

令和7年度 第4回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和7年7月11日(金)	教 育 長 明 石 浩 久	教育総務課長 小 池 康 之
午後2時	教 育 委 員 吉 富 和 夫	学校教育課長 川 崎 史 明
↓		
午後3時12分	教 育 委 員 葛 迫 幸 平	社会教育課長 大 迫 隆 男
第2研修室	教 育 委 員 田之上 厚美	書記
	教 育 委 員 福 里 由 加	社会教育課課長補佐 山 下 明 文

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、令和7年度第4回教育委員会定例会を開会した。

2 前回会議録の承認について

令和7年度第3回教育委員会定例会の会議録について、承認する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

3 議 事

報告第17号 垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について

報告第18号 垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について

報告第19号 垂水市社会教育委員の委嘱について

報告第20号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について

報告第21号 垂水市青少年育成指導委員の委嘱について

4 その他

令和7年第2回垂水市議会定例会における一般質問等について(教育委員会関係分報告)

5 動議の討論等

6 委員並びに教育長及び課長報告

7 閉 会

議 決 事 項

件 名	提案等理由	審議の状況	採決の次第
報告第 17 号 垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について	垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により行ったことを報告するもの。	特記事項なし	承認
報告第 18 号 垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について	垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について、教育長の臨時代理により行ったことを報告するもの。	特記事項なし	承認
報告第 19 号 垂水市社会教育委員の委嘱について	垂水市社会教育委員の委嘱について、教育長の臨時代理により行ったことを報告するもの。	特記事項なし	承認
報告第 20 号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について	垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について、教育長の臨時代理により行ったことを報告するもの。	特記事項なし	承認
報告第 21 号 垂水市青少年育成指導委員の委嘱について	垂水市青少年育成指導委員の委嘱についての委嘱について、教育長の臨時代理により行ったことを報告するもの。	特記事項なし	承認

議 事 内 容 等

3 議 事	
教育総務課長	報告第 17 号 垂水市立学校給食センター運営審議会委員の委嘱について (資料に沿って説明) (承認)
社会教育課長	報告第 18 号 垂水市視聴覚ライブラリー運営委員の委嘱について (資料に沿って説明) (承認)
社会教育課長	報告第 19 号 垂水市社会教育委員の委嘱について (資料に沿って説明) (承認)
社会教育課長	報告第 20 号 垂水市青少年育成センター協議会委員の委嘱について (資料に沿って説明) (承認)
社会教育課長	報告第 21 号 垂水市青少年育成指導委員の委嘱について (資料に沿って説明)
教育長	社会教育課長から説明がございましたが、報告第 20 号の青少年育成センター協議会、報告第 21 号の青少年育成指導委員につきましては、合同会議ということで、一斉に皆さん集まっていたいて、大きな人数の会議となりましたが、会議を開かせていただいたところでございます。本会には、垂水幹部派出所の所長さんも出席していただいたのですが、今年度、特に小中学生に関して、大きな問題等はないというお話をいただきありがたく思ったところでございます。 (承認)
4 その他	
教育総務課長	令和7年第2回垂水市議会定例会における一般質問等について(報告) (教育委員会関係分を資料に沿って説明) (質疑等なし)

5 動議の討論等

吉富委員

学校訪問として、垂水小学校、牛根小学校、協和小学校を訪問させていただきました。各学校に関して非常に明確な説明があり、各校、目標を持って、教職員の皆様が丸となって、学校運営を進めているようでした。

非常に和気あいあいとして、それでも授業に対しては、本市は、GIGAスクールに取り組んでおりますが、タブレットを利用した学習もきちんと目標を持って、すでに5年目に入っておりますけれども、各学校特色のある進め方をしていました。まず校長先生をはじめ、管理職の先生方の指導もあると思いますが、教職員がリーダーとなり、市全体でまとまって進めているという姿がみられ、子どもたちの授業において、具体化しており、十分発揮されておりました。

GIGAスクールにつきましては、本市が県下をリードしていくことになっていくと思いますけれども、非常に頼もしい、これからも楽しみだと思っております。また、予算につきましても、垂水市におきましては、市政方針等をみましても、教育行政に関する予算もしっかりと計画が立てられております。非常にありがたいことだと思います。他の市町村を異動で回ってきましたが、ここまでこう細かく予算化され説明を受けることで、非常に安心し大変ありがたいと思います。また予算化につきましては、非常にご苦労があることと思いますけれども、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。垂水小学校が大きくて、あと少ない複式等の学校が多いのですが、やはり、その複式の中でも、第2の先生が工夫して、タブレットを使って子どもたちにこう、十分課題を与えて、子どもたちもタブレットを使って十分交流ができていているのを見て、子どもたちにも、大分浸透してきたなというのがわかりました。今後も、GIGAスクールについては期待ができるかなと思っています。

教育長

ありがとうございます。学校訪問につきましては、また後程、委員の報告でそれぞれ、お話をいただければと思います。本当に委員の皆様、お忙しい中、暑い中、学校訪問にご参加いただき、貴重なご意見を賜りまして、ありがとうございます。その後の学校の取組につきましては後日またご報告させていただくということになるかと思います。今回、教育事務所との合同訪問ということで、委員の皆様が参加されなかった水之上小学校の学校の様子について、学校教育課長の方から説明をお願いします。

学校教育課長

7月3日に水之上小学校の合同訪問を行いました。合同訪問というのは、教育委員会とそれから教育事務所が合同で訪問するものです。その中で、教育事務所の先生方も感心しておられたところが、大きく2つありました。1つは、授業において、指導案をそれぞれの先生方が作られるのですが、それぞれの先生方の思いだけで作っているところも、地区内では結構あると聞いていたのです。水之上小学校は、今年、学習者主体の事業づくりという研究を行っていますので、その学習者主体の授業で考えると、「今日の授業のポイントはここですよ」というのがわかるようなつくり、すべての指導がなっていて、学校としての統一感が非常に図られている。これはなかなかないケースだということで、今後の地区の校長研修会や教頭研修会のときに、ぜひ、参考資料として使わせていただきたいというようなご要望もあったところでございました。

	それからもう1つはですね、学校にはいろんな表簿があるのですが、その表簿をチェックしていただくのですが、ほとんど誤りがなかったということで、これもなかなか、これだけ、誤りが無いっていうのは、多分学校としてきちっと、学期ごとに点検し、年度末の総合点検や管理職の点検がされてるんだらうないようなところで、お褒めの言葉をいただいたところでございます。皆さんすごく感心して帰られておりました。以上でございます。
教育長	学校教育課長の方からありましたが、学習者主体の授業づくりということで、例えば学習内容とか方法を子どもたちが、自分で選んで取り組んだりとか、工夫したりとかというような姿が見られたりして大変よかったという感想をいただきました。いろんな、諸表簿についても、各校の事務支援室に事務の先生方が3校、4校集まって、お互いにチェックする体制ができていますので、そういったところも効果が大きいのかなと思ったところです。どうしても教育事務所が主体になる学校訪問ですので、私も開会の挨拶だけでしたが、感心して帰ってまいりました。
葛迫委員	今年のこの暑さというのが、梅雨が早くあけて、気温も35度を超えるような暑さで、毎日、大変な思いをされていると思うのですが、子どもたちはこの暑さにどうなのかなと思います。水分補給等の対策はされているのか、先生方も多分そうだと思いますが、今の状況を聞きたいなと思います。市の職員も、この暑さで、職務を遂行できなかったりされるところもあると思うのですが、そういうときに、どういふうに対応をとられているのでしょうか。
教育長	水分補給とかですか。
葛迫委員	いや、休んだりしますよね。ちょっと体の調子が悪くなったり、そうすると、その後の仕事の遅れを、どういふうにカバーしているのかなというのも、ちょっと知りたいなと思っています。特に子どもたちは、やはりこの暑さを耐えるというのが、ちょっと厳しいのかなと思っているのですが、どんなものなのでしょうか。
学校教育課長	まず、子どもたちの健康状況は非常に大事だと思っております。幸いなことに、エアコンが入っており、学校にいる間、授業中などは、そのエアコンを活用して、子どもたちは授業に集中できているようでございます。それから、水分補給につきましては、ここ数年ずっとこの熱中症予防ということが言われていますので、子どもたちが、水筒を持参しております。それから、担任の先生たちも、子どもたちに早めに水分を取らせたり、或いは、水分を今取りましようというふうに指示を与えたりしており、喉が渇く前に水分を取れるような工夫を行っています。 併せて、養護教諭が、数年に1回は専門家の先生に熱中症予防に関して、しっかりと講義を受けて、新しい情報を積み上げていきたいというような、申し出がありましたので、今年の4月の終わりだったでしょうか、鹿屋体育大学の先生にお越しいただいて、養護教諭部会の中で、1時間ぐらい講義の時間を、取っていただいて、その中で、熱中症予防について話を伺ったところでございました。ちょっと時期的に早いかなと思ったのですが、だんだん暑くなるのが早くなっていますので、結果、いいタイミングだったのかなというふうに思っております。今後もこういう取組は継続していきたいなと考えているところでございます。
教育長	朝、市民館前の交差点に立って、私もあいさつ運動しておりますが、車での送

	迎が多いようで、歩いてくる子は何人か決まっています。朝早いので、本城川の方から垂水小学校に向かって歩いてくる子どもたちなど、信号のところで、コンビニの方の通りを行こうとするので、「向こうに渡るよ。」と声掛けしております。コンビニの通りはずっと日なたなんです。朝日があたるので、反対の通りは、建物などで、割と日陰が多いので、「信号を待って、向こうに渡って日陰を行くんだよ。」と、最近はそんな声をかけたり、「水分補給するんだよ。」とか声をかけると、「行てきます。」とか言ってくれますので、またそれで元気をもらったりしているところです。ただ、車送迎が多いなあとは思います。ふれあいロードを通る子どもたちも多いと思うので、国道から来る子供たちがひょっとしたらもう限られているのかもしれませんが、ちょっと考えなきゃいけないのではないかなと思ったりもするところでした。熱中症も心配ですけど、暑さを感じることも大事なのかなあと思ったりするところです。
教育総務課長	市の職員ということで、教育総務課所管では各学校の学校主事、図書司書補がいます。図書司書補は、室内、図書室での活動になりますので、空調が入っております。やはり、学校主事は花壇の手入れとか草払い等がありますが、学校等を訪問した際には、無理のないところでやっていただくよう、声掛けをしております。特に、熱中症警戒アラートの発表などがありますので、前日には発表されますので、その際には特に注意を呼びかけるようにしております。もう1つは、給食センターの調理場がどうしても、室温が上がりますので、そこは委託の業者の方々が調理されているのですが、現在、給食調理場そのものには空調がないので、空調のある別室で休憩をとっていただきながら作業していただいております。現在、調理場への空調の設置などの事業を進めておりますので、よりよい環境になるよう進めているところでございます。
教育長	市の職員の休みというところかというと、夏休み期間中の夏季休暇3日間、それから、12月の年末とそれから1月の年始、ここだけが、まとまって休みが取れるところなので、その休みはですね、大事にさせたいなと思ひますし、特に土日の業務の多かったりする部分があるので、極力その見直し、改善を進めていかなければいけないなというのは私自身思っているところです。どうしても忙しくて、なかなか丸1日休みが取れないときには、半日とか、あるいは、夕方、1時間、2時間でもしっかり休むんだよ、十分とってくださいねと、計画的にお願いしますねという感じです。業務がそれによってこうなんかこう大きく滞るとか遅れるというようなことは、今のところはちょっと見えないのですが、職員も、きちんとやっぱり休みを確保しないとイケないなと、率先して自分が休まなきゃいけないなと思っているところです。
福里委員	学校でプールの授業があると思いますが、今年は夏に桜島の灰がこちらに来てしまつて、プールが真っ黒だったんだとか、その降灰によって制限があるのかなと思つて。先日は小学校の子は、灰が降る中プールをしたとか、前日に灰が降ったのか、プールの中は真っ黒でねって言っていたので、何か規程みたいなものがあるのかなあと思つていて教えてください。
教育総務課長	委員からございましたように、例年にはないこの時期に灰が降り、プール授業が中止になったところもありました。対応といたしましては、数年前から各校1台プールクリーナーというのを配置しております。イメージ的には掃除機みたいなもの

	です。掃除機を沈めてそれで水の中から灰をかき出すというような機器を配置して対応していただいております。ただ、ここ数年、なかなかこの時期に本市側に灰が降るというのがなく、そのプールクリーナーを知らない先生や、使ったことがない先生がおられ、協和小学校や松ヶ崎小学校では、これまでも降っており使用していたようですが、垂水小学校などは降ってなくて、使い方がわからない、ありが分からないというところがあったので、プールクリーナーを使ってくださいというところからお話をさせていただいたことでした。これまで、比較的降灰が少なかったのですが、事前に周知をしておけばよかったというところが反省点と考えております。垂水小学校は、特に灰がたまっていたようなので、休校中の境小学校にプールクリーナーを取りに行き、2台体制として、できるだけ早く除去できるようにということで、支援させていただいたところです。
学校教育課長	私、初任校が鹿児島市の吉野地区の学校に勤めていたのですが、当時はものすごく灰が多い頃でした。私も若手ということで、毎朝7時から8時までは、プール掃除をしておりましたが、桜島の灰って結構重いので、降って、5分 10 分すれば、全部沈殿して、下の方に沈んでいきます。プール内で浮遊することはほとんどありませんので、沈殿した灰さえ吸い取ってしまえば、泳ぐことは可能になります。教育総務課から、プールクリーナーを各学校に設置していただいておりますので、そういう機器等をうまく使っていただいて、水泳授業ができればいいかなと思っています。
田之上委員	昨年末の頃だったのですが、牛根地区の垂水高校生が、部活動の関係で、中学校のスクールバスを利用するというお話がありましたが、その後、その利用状況を教えてください。
教育総務課長	昨年度、規則改正をしており、垂水高校生も利用可能になっております。現在のところ、垂水高校から乗車実績の報告はないところです。
田之上委員	利用希望があれば乗車できるということですね。
教育総務課長	はい、利用できます。
6 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告に入る。
田之上委員	学校訪問について報告をしたいと思います。 垂水小学校ですが、学校につくとそこかしこから子供たちの声であったり、活動を想像させるような雰囲気が伝わってきて、とても活気を感じました。実際の授業参観でも元気に活動して、いろいろな形態の授業に取り組む様子を見ることができました。また児童数が多いので、学力検査や体力テストの結果などのデータをもとにした傾向対策として、個々に応じた支援をしていってほしいなと思うことです。教育総務課長さんに、施設面で、かねて気になっていた場所を見ていただいたところ、早速に学校に通していただいたように対応していただきました。ありがとうございました。

	次に協和小学校ですが、小規模校の学校ではありますが、明るく活気があるように感じました。子どもたち一人ひとりの課題となるものを分析し、その対策をしていこうという様子が見えました。また、地域と密着した特色ある、いろいろな活動が含まれており、子どもたちの心身の成長を促し、地域の元気にもなっているように感じます。校長先生をはじめ、元気な先生方と意欲のある子どもたちが多く見受けられ、学習や教育活動に積極的に取り組んでいるようでした。 牛根小学校ですが、牛根小学校は10名の小規模校ですが、校舎内が整然としており清掃も行き届いていました。少人数のよさを生かし、一人ひとりの能力や特性に合わせた対応をされているということでした。地域と協力して、様々な教育活動、地域行事活動などが行われ、子ども会活動など、境校区から通学してくる子どもたちへの配慮もしていただいていたように感じました。 3校ともに、読書指導において、貸出冊数だけではなく、読書内容の充実に努められ、おすすめ本の紹介や学年や個に応じた指導、外部からの協力など様々な取組を継続されており、今後、読む楽しさをたくさん味わってほしいなと思いました。 最後に、先日、児童クラブで、学校から帰ってきた子どもたちが楽しそうにおしゃべりをしながら、おやつを食べている様子を見て、思わず私も笑顔になりました。長い間、「食べるときはおしゃべりしないでね。」「向かい合わせにならないでね。」と言ってきたので、学校が終わって、私服に着替えて、みんなとおやつを食べるというこんな何でもない日常が、子どもたちのほっとした時間になることを忘れていたなと、改めて思いました。
教育長	そのとおりですね。みんなで前を向いて黙食とかですね。ただ、最近、ちらちらと感染症の話を聞くので、今日、私もマスクをしておりますが、また気をつけていかなければならないと思うことです。
吉富委員	先ほどもお話しましたが、学校訪問のことをご報告させていただきます。 垂水高校の、評価委員会にも参加させていただきました。令和6年度の卒業生につきましては、垂水市の職員になられた生徒さんもおられ、地元で勤める生徒さん等、鹿児島県内に残る生徒さんがほとんどということで、最近では就職が地元志向のようです。また、進学についても、自分の希望に対して成果を出しているということを伺いました。垂水高校の先生方が真剣に、一人ひとりに関わっているというのがよくわかります。いろんな技能の免許取得についても、2級、1級を目指して、1級を3つとった生徒もいるということです。学業以外につきましても、先生方が関わって、生活デザイン科という特色があるので、鹿屋などの市外や市内から入学があり、普通科と生活デザイン科の生徒それぞれが切磋琢磨している姿も伺いました。生徒会の役員も、会長や役員でしょうが6名立候補して、立会演説、応援演説して、ほんとやる気のある子どもたちが多いとのことでした。 少数でありながら、非常に充実した学校生活が伺えて、小中一貫とかいろいろ施策の方がありますが、小中高一体となったところがあるなということで、非常に期待できるかなと思っているところです。幼稚園や保育園も繋がれば、非常にありがたいなと思うところです。
教育長	具体的な連携がよくされており、本当に年間通していろいろな取組をされておられるので、それが実を結んでいけばいいなと思いますし、幼稚園、保育所、こども園から垂水高校までが、GIGA等のデジタルで繋がれば一番いいなというの

葛迫委員	は、教育委員会としても考えているところです。 6月15日に、創立50周年記念コール・エスポワールの演奏会が垂水市文化会館で開催されました。コール・エスポワールは昭和47年に、故・沖明子先生の「垂水のまちを明るい歌声の溢れるまちに」という願いのもと、創立されたそうです。エスポワールはフランス語で、「希望」「そのことを胸に」「楽しく集い、歌い続けたグループ」ということで、13名の団員と男性合唱OB8名が参加しました。今回の演奏会は、第1ステージの女性合唱への誘いでは昭和唱歌メロディーなど、第2ステージでは50年を振り返ってとして、男性合唱、女性合唱、第3ステージではピアノ連団合奏、第4ステージでは、心に響く歌としてソレアードを会場の皆さんとともに大合唱していました。最後の第5ステージでは、混声合唱。ここで知合いの奥様がソプラノで出演したのですが、声を張り上げていましたけど、無事歌いあげてちょっとほっとしたところでした。久しぶりに今回の文化会館での、演奏会は、2階席まで観客が入り、文化会館満員御礼という催しで、感動の連続のプログラムだったと感じたところです。 小学校の学校訪問ですが、教室や壁に張っている展示物、室内の様子感想です。垂水小学校では、低学年が作った絵地図が興味をひきました。自分の家から学校までの間、ここは危険な場所だとか、安全な場所だとか、児童が気づく。いつも壁に貼ってある、絵地図を見ることで、安全な場所を頭に入れることができる。この取り組みは非常にいいなと思ったところです。 協和小学校は、教室や廊下、それらの壁など、綺麗に、整理整頓されていました。やはり教室や廊下が整理されていると、学校に入ると、気持ちがさわやかになるなり、気持ちがいい。勉強への取組がスムーズに行き、学力効果が生まれ、楽しい児童が育つなと思うところでした。 今日の午前中でしたが、第11回和田英作・香苗記念絵画コンクールの第1回実行委員会が開催されました。昨年の第10回記念展の事業決算報告や第11回展の開催要項案、予算案などが説明され、コンクールが、動き出してきたなあと思うところです。委員の中からは、収入予算の寄付金10万円のことは大丈夫ですかと質問が寄せられ、少ない予算で、収支予算を計上していますが、何とか頑張っていくしかない、子どもたちの賞の予算を減らさない工夫をすることで、承認していただいたところです。夏休み明けから子どもたちには、このコンクールの絵を描いてほしいと思ったところです。
教育長	危険箇所マップ。どこの学校も作っていますか。
学校教育課長	危険箇所マップは、学校が定期的に見直しをするようにしています。具体的には、2年に1回は必ず見直しをして、見直されたものは、教育委員会に報告をしていただく。そして、当然そのことは、保護者や子どもたちにお知らせして、この辺りが危ないから、特に梅雨時期とか気をつけようねというような指導に生かしているものが、各学校作られているところでございます。
福里委員	6月24日垂水小学校、7月2日協和小学校と牛根小学校の学校訪問に行かせていただきました。それぞれの学校で特徴があり、先生方、子どもたちの様子を見ることができてよかったです。以前は垂水小学校の授業参観は2時間に分けてだったのですが、今回は1時間での参観だったので16クラスを2～3分しか見れなかったのも、もし可能であれば、もう少し時間があればいいなと思ったところ

教育長	です。小さな学校だと、友達同士のトラブルとかよくあってなかなか厳しい面もあるというふうに聞いているので、仲良くしてもらえたらいいなと思います。娘のクラスにも、ちょっと長く学校を休んでいる子がいるそうです。不登校、私も最近聞いたのですが、「3週間ぶりに来たんだよ。」「明日は合唱祭だから、合唱祭は来れると思うんだけどね。」など娘が言っていたのですが、そういう不登校の方も、そういう方向に進んでいくといいなというふうに、学校に来れる日が増えていけばいいのかなというふうに思っています。 10月2日の県駅伝大会に娘が出ることになりました。それに向けて、毎日朝練があると聞いて、先生たちがすごく一生懸命してくださっているので、それに応えて頑張ってもらいたいと思います。 6月10日、11日は市議会の一般質問でした。教育委員会には、先ほど教育総務課長の方からもありますが、7人の議員さんから大きく13の質問がありまして、39の答弁書を作成し対応いたしました。各課の職員は、対応に追われたのですが、各課長が、迅速かつ丁寧に、取りまとめてくれたおかげで、よい対応ができたと思っています。多かったというのが実感で、それだけ教育に関心を持っていたらいい証だと感じたところでございます。 6月19日は、給食の検食に行きました。メニューはぶりのごまだれ焼きでした。特産のブリ・カンパチのおいしい給食を食べておきたいと思っていました。風味もよくて美味しくいただきました。毎年、水産商工観光課が予算化してブリ・カンパチを提供しているという経緯を知っていましたが、実は地元企業のグローバルオーシャンワークスさんから、育ちのよくない夏場を除いて、毎月、無償提供されているとお聞きしました。初めて知りましたので、その1週間後に、教育総務課長、課長補佐、庶務係長とともに、御礼方々ご挨拶に伺ったところでした。どうぞ、これからも遠慮なくおっしゃってくださいと言われて、本当に垂水の子どもたちは幸せなことだと改めて感じたところでした。 6月26日、第2回教頭研修会を開催されました。私の方から、教職員の不祥事の根絶についての話をいたしました。この日の朝刊に、名古屋市の教員が盗撮で逮捕され、約10人の教職員がチャットで画像や動画を共有していたという、言語道断の報道がなされました。文科省の方からも、県教委を通じて、また、こちらの方に文書が届き、それを学校の方にきちっと指導し、時間を割いて指導していただくようお願いし、再指導したという報告ももらっているところです。教頭先生方には、子どもの前に立つということの重みを改めて、職員に考えさせるよう話をしました。私たちの仕事は、「24時間、365日、教頭として、あるいは教師として見られること。」「私たちは常に子どもの模範でなければならないこと。」「話し方や行動規範意識」などです。中央中学校に勤務していた頃、国道横断すれば早いのですが、市民館の前の信号まで歩き、青信号で横断歩道を渡っていました。あえてそうしていました。そうしなければ子どもたちに交通ルールを守りなさいと言えないと思いました。それを窮屈とを感じるか、当たり前と思うか。教師が真面目であることは大事なことです。真面目という言葉が、子どもたちの中で、社会の中で、軽んじられている傾向があると感じています。真面目という言葉は辞書で引くと、「本気」「真剣」「真心」「誠実」とあります。職責の重さと尊さを教頭先生方から、職員に語ってほしいと話をしたところでした。
------------	--

教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長	6月10日から7月11日までの主な行事等について各課長が報告。 併せて、7月12日から8月8日までの行事予定についてお知らせした。
学校教育課長	生徒指導等について 念願のサテライト教室をようやく開始することができました。昨年、中央中学校に、校内教育支援センターを設置しました。不登校の未然防止という点では、一定の効果あったのかなというふうに思っています。特に昨年度、特徴的だったのが、新規の不登校の数が随分抑えられたというところがあります。一方、課題としては、中央中学校の校区は南北37キロ非常に広いので、スクールバスに乗れなくて、結果として欠席が増えてしまう子どもたちがおりましたので、そのところを何とか対応したいなと考えていたので、それがサテライト教室という形で対応しようと考えていたところでした。6月中に不登校のお子さんのところに、担任の先生やスクールソーシャルワーカーの方々が案内をいたしまして、現在のところ、南部の新城教室に3人、中央の水之上教室に1人、北部の牛根教室に1人ということで、スタートができております。来た子どもたちですが、先日、見にいきましたが、楽しそうにしている様子が見られましたので、夏休みを挟んで2学期になります。また、こういうところで、学びを少しでも進めてもらったらいいなというふうに考えているところでございます。
教育長	サテライト教室が多いのはいいこととは言えないかもしれませんが、ただ、本当に困っている子どもたちが、こういう教室に来て、学んだり、あるいは支援員の先生とコミュニケーションが図れるというのは、本当に大事なことだと思いますので、このサテライト教室で心のエネルギーを蓄えてくれたらなあと願っているところです。
7 閉 会	